

専門医生涯教育委員会

委員長：吉村 陽子

委員：阿部 清秀、飯田 直成、岡 博昭、垣淵 正男、河合 勝也
中束 和彦、朴 修三、湊 祐廣、宮坂 宗男

開催年月日：①平成23年2月6日（更新審査委員会）

その他適宜メール委員会

主な議題：1. 専門医資格更新審査

2. 委員会承認の学術集会・研究会の更新審査

3. 学術集会（研究会等）新規登録申請に対する審査

4. 今後の問題点について

活動の概要：1. 専門医資格更新申請の手引きを、メール委員会で確認した。

2. 専門医資格更新審査を行った。

1) 専門医資格更新審査の該当者は355名で、更新を承認されたものは288名、書類不備により返却し追加書類などの提出により更新を認めたもの5名、追加書類など提出がなく更新を認めなかったもの2名、留保6名、未提出54名であった。

2) 資格更新点数免除者について

専門医資格更新点数免除の該当者は18名で、更新を承認されたものは7名、未提出11名であった。

3) 留保申請について

留保願いは6件あり、4名は留学、1名は病気療養、1名は出産育児のため1年の留保が認められた。

4) 締め切り後に書類を提出した5名、参加章を指定の台紙に貼付して提出していない1名、名前のない参加賞が含まれていた1名に関しては更新認定と同時に警告を送付した。

3. 委員会承認の学術集会・研究会の更新審査を行った。

1) 平成16年（2回目の更新）と平成20年（1回目の更新）に承認されたものについて3年分のプログラム等を確認し、更新を承認した。「日本レーザー医学会」は演題数が不足することは考えられず、更新申請者が形成外科学会員でないことで適切に更新されない可能性があるため、一覧表に入れることとなった。平成23年度から点数を6点とし、会告に掲載することになった。

4. 学術集会（研究会等）新規登録申請に対する審査について

1) 学術集会、研究会の新規登録申込が「多摩形成外科症例検討会」「京滋手の外科・末梢神経セミナー」「備後形成外科医会」「東日本手外科研究会」「末梢神経を語る会」「沖縄形成外科研究会」「北海道形成外科フォーラム“北の大地”」「山陰形成外科懇話会」「兵庫県形成外科医会研究会」「旭川手の外科を考える会」「郡山形成外科研究会」「とちぎ形

成外科懇話会」と12件あり、承認し、点数を付与した。
承認された研究会および点数は会告に掲載予定。

- 2) 日本美容外科学会の出席点が総会と学術集会で同点であったが、総会とは異なり学術集会は半日くらいの集会であり、同点では高すぎるとの意見が多く、学術集会は3点にする案を理事会に上申し、承認された。

5. 今後の問題点

- 1) 点数が足りているが書類不備であるものが多いため、次回より手引きに申請書類の注意書きをサンプル付きで提示することになった。
- 2) 診療実績記録について、1日の患者数と手術件数が符合照合しないなど、明らかに虚偽と考えられるものについては、今後診療内容について問い合わせをする可能性があり、不可とすることもあるとし、専門統括会議で検討することになった。
- 3) 免除者の中には申請用紙のダウンロードができない環境の方もあると思われるため、次回から診療実績記録を同封することにした。
- 4) 学会出席に疑義が生じた際には、出席カードの提出の有無を確認することがあることを、理事会に上申した。
- 5) 出産・育児・介護に関する留保について、何年まで認めれば良いか今後検討を要する。また、専門医資格を失った後、現在の規則では再度専門医試験を受験するしかないが、専門医資格の復活試験を行っても良いのではないかと意見があった。